

京都市四条烏丸駐車場の廃止に伴う対策について

京都経済センター(仮称)の建設に伴う京都市四条烏丸駐車場(以下「四条烏丸駐車場」という。)の廃止に当たり、以下のとおり、対策を行い、または行う予定ですので、御報告します。

1 周知・広報

四条烏丸駐車場の廃止時期、公共交通機関の利用促進及び周辺の駐車場・駐輪場への案内について、同駐車場内での案内、市の広報媒体やメディアの活用による広報を行うとともに、交通機関、周辺店舗に協力を要請し、市民への周知を図っている。

(1) 四条烏丸駐車場内での周知

- ・管理事務所の窓口やチラシ配架スペースに、自動車、原付・二輪、自転車の各利用者に向けた案内チラシを設置
- ・出入口周辺・通路等構内各所に周知ポスターを貼付
- ・場内アナウンスにおいて駐車場の廃止を放送

【案内チラシ・周知ポスターは別紙1】

(2) 市の広報媒体やメディアを活用した周知

- 広報発表 … 12月16日に発表
- 市民しんぶん … 全市版1月号に枠囲み記事で掲載
- 市役所前電光掲示板 … 2月29日から3月31日まで、約1ヶ月間放映
- ホームページ … 12月中旬から自転車政策推進室ホームページにおいて案内チラシを掲載(ダウンロード可)
3月下旬から4月上旬、「京都市情報館」トップページに掲載
- ラジオ番組 … 1月から、市政広報番組であるKBS京都「ちょこっと情報☆京都」やFM京都「KYOTO・CITY・PUBLIC・LINE」で週1回程度放送
3月から、NHKやKBS京都で道路交通情報等とあわせて放送

(3) 周辺店舗、交通機関等の協力

ア 周辺店舗

- ・大丸京都店、京都タカシマヤ(提携駐車場)
… 1月中旬に、立札等による来店者への案内、従業員への情報提供を依頼するとともに、同店ホームページにて駐車場廃止掲載を実施
- ・四条繁栄会商店街、錦市場商店街など(駐車場周辺店舗が加盟)
… 1月中旬に、案内チラシ等による来店者への周知、従業員への情報提供を依頼

イ 交通機関

- ・阪急<烏丸駅> (2月中旬～), 市営地下鉄<全駅> (3月中旬～)
… 駅構内での案内チラシ, 周知ポスター等による駐車場廃止の周知と周辺駐車場情報の案内を実施

2 車の混乱防止策, うろつき対策

(1) 四条烏丸駐車場の定期利用者向け

- ・四条烏丸周辺の民間定期利用駐車場の情報を提供し, 他の駐車場を利用できるよう案内を実施

(2) よく利用される一時利用者向け

- ・四条烏丸駐車場内にて駐車場の廃止と周辺駐車場情報を周知

(3) たまに利用される一時利用者向け

- ・市の広報媒体やメディアの活用及び周辺店舗, 交通機関の協力により, 幅広く四条烏丸駐車場の廃止を案内
- ・あらかじめ他の駐車場を利用してもらうため, 民間の駐車場検索サイト等のホームページにおいて, 四条烏丸駐車場の営業終了の掲載や, 四条烏丸駐車場に関する駐車場情報を削除

(4) その他, 駐車場情報を検索せずに駐車場に来られた方向け

- ・営業終了後の現地において, 現指定管理者である(一財)京都市都市整備公社が, 本市と連携し, 一定期間の間, 必要に応じ営業終了や周辺駐車場案内等を対応予定

3 駐輪スペースの確保 【箇所図・収容台数は別紙2】

- ・駐輪場の整備・運営を行っている民間事業者, (一財)京都市都市整備公社等に整備を促すとともに, 周辺遊休地の所有者やコインパーキングの運営事業者を訪問し, 駐輪場整備の働き掛けなどを実施
- ・平成27年度, 四条烏丸周辺で, (一財)京都市都市整備公社の運営する駐輪場2施設(計自転車:108台), 民間自転車等駐車場整備助成金制度を活用した駐輪場2施設(計自転車:38台, バイク:119台)の計4施設を新設
- ・助成金制度を活用して, 平成28年3月にさらに1箇所(自転車:89台, バイク:6台)設置し, 平成28年度には1箇所(自転車:約130台)駐輪場を新設予定
- ・利用者数が多い駅周辺で, 駐輪需要は大きいものの地価が高いことなどから駐輪場整備が進まない地域を対象に, 更なる整備誘導を図るため, 助成金制度の上限を現行の400万円から600万円に引き上げ, 予算額を2,800万円から3,200万円に増額する来年度予算案を2月市会に提案

4 京都経済センター(仮称)の付置義務

京都経済センター(仮称)整備の事業者と4月末を目途に事業契約を締結する予定であり, それまでに, 事業者に対し付置義務を超えた駐車・駐輪スペースを設けるよう, 産業観光局と連携して求めている。

5 駐車場案内システムの廃止【システム概要及び箇所図については別紙3】

平成12年から運用している駐車場案内システムは、そのコントロールセンターが四条烏丸駐車場内にあるが、以下の理由により同システムを廃止することとする。

- ①老朽化により移設不可能であって、案内システム更新には莫大な費用（4～6億円）が掛かること。
- ②年間の維持管理費用が約900万円掛かっていること。
- ③近年、カーナビゲーションシステムやスマートフォンにより駐車場案内ツールが充実してきていること。

なお、個別案内板については、撤去までの間、矢印のシールを貼付し、各駐車場へ案内できるようにする。